



「地球温暖化対策実行計画」

達成状況

公立志津川病院では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成14年度から温室効果ガスの排出抑制を講じております。具体的には平成13年度の燃料などの使用量を基準に、5カ年間でこれを2パーセント削減し、地球温暖化対策を推進するものです。

取り組みの結果、平成16年度は目標に対し3・4パーセント排出量を削減。平成17年度は4・9パーセントの削減を達成することができました。(表)

燃料別に見てみると、すべての項目において使用量が減り、総体として、温室効果ガスの発生が4・9パーセント減少しました。この結果を踏まえ、今後も職員一人ひとりに省エネルギーに対する意識を徹底し、さらなる削減に向け努力していきます。

(表)

項目	単位	削減目標	平成14年度基準値	平成16年度		平成17年度		
				使用量	達成率(%)	使用量	達成率(%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	-3%	15,142	6,354	58.0	7,806	48.4
	灯油	ℓ	-2%	4,807	2,395	50.2	2,505	47.9
	A重油	ℓ	-2%	428,152	426,580	0.4	421,040	1.7
	液化石油ガス	kg	-2%	10,512	10,597	-0.8	10,330	1.7
電	気	kwh	-2%	254,906	257,403	-1.0	250,605	1.7
笑気ガス(注)	kg	-2%	14,795	0	100.0	0	100.0	
温室効果ガス総排出量	kg	-2%	728,314	703,329	3.4	692,286	4.9	

(注) 笑気ガス：全身麻酔の際に使用するガス（一酸化二窒素）